



最近の様々な報道を見ていると、世の中は病んでいるな～と思わざるを得ません。特に恐ろしく思えるのは、何事においても「真」が見えなくなっているところです。昨日の本当は今日の嘘、みたいなところもあって、何を信じて生きていったらよいのかと、悩むこと頻りです。

こんな現実を見ていると、つい親鸞聖人の『歎異抄(たんにしょう)』にある言葉を思い出してしまうのです。「煩惱具足(ぼんのうぐそく)の凡夫・火宅無常(かたくむじょう)の世界は、万(よろず)のこと皆もって空事(そらごと)・たわごと・真実(まこと)あること無きに、ただ念仏のみぞまことにて在(ま)します」と。

親鸞聖人は、ただ「念仏」一つに生きた人でしたが、聖人にとって「念仏」は、迷いの世界に生きている自分の姿を照らし出し、生きる道筋を示していただける言葉であったのです。

いつの時代も変わらぬ「火宅無常」の世界を生きなければならない宿業を生きる中で、私自身を支えてくれる、生きる道筋を示してくれるゆるぎない真実に出会っていくことが、今私たちに求められていることではないでしょうか。本願力に遇いぬれば 空しく過ぐる人ぞなき 功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水へだてなし という『高僧和讃』が思い起こされることでもあります。

## ◎ 信を問う

樹林

何年も前から仏教のあり方が問われていますが、現在も門徒の減少、葬送革命、廃寺など、問題が続出しています。

この状況下でたびたび問われているのは、信心の深めだと思えます。

中世蓮如上人は全国広い地域に「講」をすすめてくれました。身分のちがいを超えて道場にあつまり、ともに信心を語り合う「講」の広がりから、無学文盲の人びとの中からも妙好人を輩出するようになった。

妙好人と言われる人たちは、たぐいまれな鋭い感性により、高僧も及ばぬような深い信仰の境地に到達しました。

これを思いつく信心の深めは、「単に知識だけではなく、御仏の慈悲に感激し、感謝の誠をよさげる、感性の深めが要件である」と見なければなりません。

真宗教団がかかえる課題も、実に感性の深めにかかっていることを痛感します。このことから自分の信心は果たしてどうであるかを問いつづけたいです。

## 仏教豆知識

隆文

阿弥陀仏とは、お仏壇の中央に居られる仏様です。阿弥陀仏は、インドの言葉でアマターバ 限らない光を持つ者(を音写した言葉です。ですから、阿弥陀仏は限らない光を持つ仏様です。これを、意識すると無量寿如来や不可思議光如来となります。

正信偈の始まりに、「帰命無量寿如来、南無不可思議光とありますが、これはどちらも阿弥陀仏に帰依します」という意味です。光というのは救済を意味し、限らない光ですから、全ての人に光(救済)を与える仏様です。

それは、親の愛情に似ています。どんなに背かれても親は子を決して見捨てません。しかし、子はそのことになかなか気が付けないものです。同様に、私達人間も自分に注がれている光にはなかなか気が付くことが出来ません。でも、その光はどんな人にも必ず届けられています。そのように受けつづけたい。そういう願いを持った仏様が阿弥陀仏なのです。



# 真宗本廟奉仕団、結成のお知らせと、お誘い。

このたび岐阜教区第11組で、真宗奉仕団を結成することになりました。どなたでも参加していただけます。

光受寺単独で計画、実施したことは何度かありましたが、今回は他寺のご門徒さんや、全国のご門徒さんとのふれあいのもてる場でもあります。

ぜひこの機会にご参加いただき、親鸞聖人の身元において真宗に触れていただける機会にさせていただけたらと思っております。詳細は下記のとおりです。(申し込みは住職まで)

## 親鸞聖人の御真影の前に、全国の同朋が集う場

岐阜教区第11組門徒会  
 会長 H. A  
 組長 T. K

下記日程にて、京都・真宗本廟奉仕団を結成します。

講義や座談会・清掃奉仕を通じ、日頃の生活の中でかかえている問題や仏教に関する疑問などを考えます。

2日目は、湯の花温泉に宿泊。最終日は六角堂を参拝、大津プリンスホテル37階のレストランにて昼食、近江八幡を観光します。心より皆様のご参加をお待ちしています。



期 日 平成29年9月6日(水)  
 ~8日(金)【2泊3日】

★ 宿泊地 1日目 東本願寺 同朋会館・詰所  
 2日目 湯の花温泉  
 ホテル溪山閣 TEL 0771-22-0250

★ 参加費 28,000円  
 (定員40名/研修費・交通費など全て含みます)

★ 持ち物 御念珠・勤行本・筆記具・清掃のできる服装  
 ・寝間着・持薬・洗面用具  
 ・健康保険証(コピー不可)

※同朋手帳・肩衣をお持ちの方はご持参ください

★ 申込み 下記参加申込書にご記入の上、費用を添えて  
 7月30日(日)までに、各寺院までお申込下さい。  
 (先着40名で締切ります)  
 ※貸切バスにて、東本願寺へまいります。  
 バスご乗車地・時間などは後日ご連絡いたします。

	6日(水)	7日(木)	8日(金)
6時	出発	起床・清掃	
7時		晨朝参拝	
8時		朝食	朝食
9時		清掃奉仕	ホテル発
10時	東本願寺	諸殿拝観	京漬物店
11時	結成式	昼食	六角軍参拝
12時	昼食	講義	池坊資料館
13時	参拝	座談会	昼食
14時		解散式	ランチブッフェ
15時	お内仏お給仕	大石酒造	近江八幡
16時	夕事勤行	見学・試飲	散策
17時	夕食	ホテル着	
18時	講義	ご宴会	到着

**今月の同朋会**  
 私たちの命は  
 生き物の命を奪い続ける  
 ことによつて保たれるとい  
 う、矛盾を抱えて生きてい  
 るのです。

**罪悪深重のわが身**

**ご連絡** ◎8月の光受寺喫茶・同朋会はお休みです。

◎お盆経はお早めにお申し込みください。  
 (14・15日)は朝7時より本堂にてお勤めをいたします。)

**緊急**…今月の同朋会は若院法話の後、「お磨き」をしていただきます。一人、一仏具としますので、20~30分程度となります。多くの方のご参加、お願いいたします。